

事業所名		ゆしゃ				支援プログラム				作成日		2025		年		2		月		28		日			
法人（事業所）理念		質の高い医療の提供とともに2つのことを追求します。 患者様と職員が喜びと幸せを共創できる病院を追求します。 病院に関わる全ての人の豊かな未来を追求します。																							
支援方針		一人ひとりの想いや感じ方などの個性や特性を大切に自分らしく生きていくためのお手伝いができる場所を目指しています。																							
営業時間			9	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無		ありなし												
		支 援 内 容																							
本人支援	健康・生活	保護者の負担を軽減することにより、児童の精神的な安定を図ることを目的に期間限定でレスパイトとしての支援を提供する。（延長支援・入浴支援・訪問支援） 朝から夜寝るまでの生活の安定を目的として、学校等の日中の活動場所へ訪問・面談を行い、連携・統一した支援を提供する。 家庭や児童の身心の状態を正しく把握し、適切な支援を提供することを目的に、評価バッテリーや観察等で、正しく評価を行う。 楽しいと感じること、集中できることなど、児童の強みにつながる活動を多く見つけていく。																							
	運動・感覚	現状の発達段階と、未経験の動作を評価バッテリーのみではなく、日常の動作や反応から評価し、遊びや生活の中で必要な動作やその動作に必要な基礎的な動きを学習・再学習できる支援を提供する。 特性としての感覚入力（鈍麻・過敏 等）を評価し、その感覚によってもたらされる不適切な動作や反応（回避・逃避・攻撃・過剰適応等）を、適切な動作・反応に促す支援や物理的方法を提供する。																							
	認知・行動	適切な行動がとれる場面と、不適応行動となる場面をそれぞれ評価し（発達段階・誤学習・認知機能の歪み・行動の癖 等）原因に合わせた支援（発達の促し・再学習・行動療法 等）を提供し、適切な行動への変化を促す。																							
	言語 コミュニケーション	言語・コミュニケーション能力と、家庭・学校生活で本人が必要としていること・困っていることを評価し、本人が伝えたい・知りたい内容が伝わるような支援（言語以外の方法 等）を提供するとともに、将来的に本人や周りが必要とする方法（言語 等）でのコミュニケーションの獲得に向けての支援を並行して行う。																							
	人間関係 社会性	現状の人間関係の良好な部分と良好ではない部分、その原因となっている環境及び本人の発達状態や誤学習を評価し、環境を整えると同時に、本人に必陽な能力の獲得・再学習できる支援を提供する。																							
家族支援		定期的な面談に加えて、必要に応じて訪問支援・面談・レスパイトとしての短期支援を提供する。										移行支援		保護者からの要望に応じて、学校に訪問し、様子の確認・先生の想いの聞き取りを行い、地域生活が安定する支援を提供する。 進学時には必要に応じて情報提供や連携会議を開催する。											
地域支援・地域連携		移行支援と同様の支援を提供する。										職員の質の向上		定期的に研修に参加し、参加した職員から伝達研修を行う。 専門職も毎日の申し送り等に参加し、個々の児童に対する現状や支援内容に対して検討する機会を確保する。											
主な行事等		避難訓練（年二回・火災・地震） 誕生日会 その他季節に合わせて簡単な行事を行う。（クリスマス・ハロウィン・バレンタイン等）																							